

国営みちのく杜の湖畔公園 ふるさと村 本荘由利の家設計監修業務

農の風景・・・みちのくの大地のあたたかさ

国営公園・郷土景観・民家移築

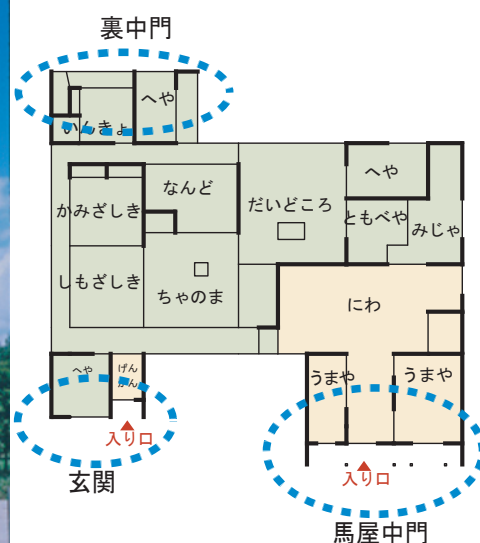


■主旨・内容

「ふるさと村」は、国営みちのく杜の湖畔公園にあって、東北のふるさとの農村風景ともに、今に伝わるくらしの知恵を発展継承するものである。

「ふるさと村」は、東北6県のそれぞれ特色ある民家と、地元川崎町の釜房ダム建設で水没した民家、計7棟を移築復元する計画であり、本業務は、6番目の移築復元民家「本荘由利の家（秋田県）」の施工にあたって、設計者の立場から総合的な視点で監修を行うものである。

「ふるさと村」整備にあたっては、民家の復元、構造補強、防災設備、建築内外の背景的演出、テーマ展示、維持管理、運営管理と、多くの分野にわたる設計の意図、設計にいたる経緯を熟知するとともに、建築史・民俗学の学術的専門分野における監修者との意見調整、さらに、既移築民家や公園施設との整合や役割分担など、多様な意味を含んだ全体調整が要されている。



「本荘由利の家」

- ・形 式 : 両中門作り（裏中門付き）
- ・所在地 : 秋田県由利郡大内町
- ・建築年代 : 1900（明治33）年
- ・規 模 : 延床面積118坪（427㎡）

展示テーマ：食

- ・自然の恵み・食を作る
- ・薬用植物・身体に良い料理
- ・飢饉の記憶
- ・食の歳時記
- ・食の昔話
- ・稲と米



両中門作りの特徴

「にわ」の前に馬屋を収納した曲りを突き出して出入りを兼ねた上に、上手の座敷の前にも小さな曲りを突き出して居室を収納した出入口を持形式の民家を、秋田県地方では「両中門作り」と呼んでいる。

冬季の積雪が深い秋田県地方で、雪に出入口をふさがれないようにするための工夫で、18世紀頃から秋田平野や本荘平野などの農家を中心に、その形式がはっきりして、数も増えてきたものである。

■諸元

公園名称：	国営みちのく杜の湖畔公園
施主：	国土交通省 東北地方整備局 国営みちのく杜の湖畔公園工事事務所
所在地：	宮城県柴田郡川崎町
敷地面積：	647ha（ふるさと村7.2ha）
対象面積：	0.5ha
業務内容：	設計監修
設計期間：	2001.04～2002.03
開 園：	2003.07